



# ねりまの文化財

## 埋蔵文化財の発掘・整理調査から

区内では、教育委員会・練馬区遺跡調査会などにより、埋蔵文化財の調査がすすめられています。

昭和63年度中に実施されている主な調査は、愛宕下遺跡発掘調査と、外郭環状道路建設の事前の発掘調査です。その他にも、小規模な発掘調査や、前年度に発掘した遺跡の整理調査を行っています。今回は、これらの中から池淵遺跡についてお伝えします。

### 〈池淵遺跡〉

この遺跡は、石神井町五丁目の石神井川左岸の南斜面を有する台地上に広がっています。場所をちがえて、昭和30年代から調査されて、現在整理中の調査は、第4次になりました。今回は、旧石器時代、縄文時代中期の遺構・遺物がおもに

検出されました。

写真の土器は、調査箇所付近で出土したもので、参考資料として、あわせて整理調査を行っています。口縁部近く(写真右上)に2つ横に並んだ穴は、割れた土器に穴をあけて、破片をしばって、再利用していたものと考えられます。

(口縁部径約30.5cm、高さ約44cm)



修理跡のある土器

(宇多川 清氏蔵)

## 文化財保護審議会

### 委員決まる

昭和63年12月10日付けで、次の方々に委嘱しました。任期は2年間です。

品田氏以外は、再任です。会長は、互選により滝口宏氏が就任されました。

順不同・敬称略(かっこ内は、専門・主な経歴)

滝口 宏 (考古学・早稲田大学名誉教授)

玉口 時雄 (考古学・明星大学講師)

山崎 弘 (建築史・工学院大学工学部助教)

品田 穰 (生態学・国際武道大学一般教育部教授)

福田 アジオ (民俗学・国立歴史民俗博物館民俗研究部教授)

柴辻 俊六 (日本中世史・早稲田大学図書館員)

渡辺 伸夫 (日本芸能史・早稲田大学演劇博物館員)

武田 光一 (日本近世絵画史・新潟大学教養部助教)

練馬名所は数あれど、石神井公園・豊島園。カヲフリ山に湧く清水。関の溜井の山桜。木樽の御会式妙福寺。植物学者の牧野園。將軍御成は三玉寺。豊島殿塚、道場寺。石仏群は長命寺。柳生十兵衛、広徳寺。さても名高い大根の、碑は愛梁院鹿島翁。空中戦の基地は今、光が丘の大公園。中里富士に江古田富士。仰ぐ樺は白山社……

## — 区民の連帯で —

# 大切にしたい郷土の文化財

まだまだ続きますが、練馬区は四七km<sup>2</sup>の広大な地域のため、数多くの史蹟や名所に富み、緑被率も高く、二三区の中でも特に自然に恵まれています。

今から百二〇年前の明治の初めは、区内人口一万人余りで、五〇年後の大正九年第一回国勢調査で二万人になりました。昭和二二年、板橋区より分離独立した当時は一一人。それから四〇年過ぎた現在、六〇万人の大練馬に発展したのです。何とすさまじい都市化現象でしょう。特に戦後は、開発の名のもとに、祖

先から受けついで文化財や自然が失われてきました。

このため次のことに気をつけて、文化財の保護策を急ぐ必要があります。

### ○練馬の石造物

○板碑(鎌倉末期から室町・戦国時代の扁平な青石供養碑)

これは他区に比べても多く、二三〇基近く残され、多くは寺院や旧家に保存されています。時々、工事や耕作中に完型

があります。この他にも、神社・仏閣や道端の石造物など、どれもみんなで大切にしてほしいと願っております。

### ○練馬の古文書

江戸時代の村方約一四か村の文書類は大変貴重ですが、明治維新以後の品川東や大小区時代、連合村や合併町時代、板橋区編入時代の文書も貴重になりました。旧戸長・副戸長、旧村長と助役、収入役の旧家や村有志の家々には、まだ当時の

や残片が出土します。数少い中世の資料のため、大切に保管し、区教育委員会に連絡していただきたいものです。

### ○庚申塔・馬頭観音・地藏など

近世の民間信仰を知る上で大切な資料です。庚申塔は元禄期前後に造立が盛んになり、区内に一三〇余基。馬頭観音は、江戸中期以降、明治・大正まで一一〇余基もあります。これらは旧道沿いや分かれ道などにあるため、道路工事で破壊放置され易く、路傍や門前の地藏約二〇〇基、観音五〇余基、不動などもその心配

## 文化財保護推進員 瓜生 清

書類や印刷物が残されていることでしよう。また終戦前後の区に関係するどんな文書や印刷物も、変革期の重要な書類となりました。汚いからといって、焼いたり捨てたりしないよう保管して下さい。

### ○写真・絵葉書・地図・生活用品など

「百聞は一見にしかず」とか。風景や名所・公園・寺社・河川・風俗・住居・生産など、また日常家庭用品・農具・工具などは具体的資料として価値の高いものです。特に戦前のもものは貴重になりました。改築や引越、倉庫や物置などの整

理のとき、捨てないでご連絡やご提供をお願いします。

○皆様の連帯で文化財保護を！

最近、小中学校の周年記念に、地域のものを収集し、空き教室に郷土室を設ける所も多くなりました。また、二〇年前までは全くなかりなかつた町々辻々の庚申堂や地藏堂が、地域の熱意と浄財で改修され、新来の人々をも交えて清掃供花する姿を見かけます。その心のやさしさと、温かい町内の連帯をかいまみる思いがします。

今から約五百年前に申待供養として造られた板碑です。板碑は鎌倉・室町時代

練馬区登録有形文化財

「板碑」——長享の年銘



室町時代後半の頃には、農民の力が増して、月待や庚申待などの民俗行事が盛んになり、結衆(信仰の団体)を作り、供養塔や板碑が造られるようになります。この中で本碑は、全国でも三番目に古いものです。中世農村の様子を知る大切な資料です。特に本碑は、種子の読み方に異論があつて、今後の研究の課題の一つにもなっています。

に多く造られた石塔婆で、区内でも約二百三十基もあります。

せき  
関のボロ市では古道具屋も復活

ボロ市は、本立寺お会式の法要に合わせて、開催されます。日蓮宗では、宗祖追恩の法要をお会式と言います。12月の9日・10日の両日で、10万人近くの人出があります。江戸時代、宝暦年間から始まったと伝えられています。もと、ボロ布や農具を売っていました。特に布は貴重で、ボロ布をませてワラジを作ったりしたそうです。また、地域社会の貴重な

コミニケーションの機会でもあり、お嫁さんを探す場でもあつたそうです。



今年は、出店も多く、しばらくとだえていた古道具屋も復活しました。(本立寺壇家としてお忙しい文化財保護推進員の井口敏さんにかがいました。) ◎出版情報 長い間品切れとなつていた「練馬の民俗 I」を復刻します。これは、法会、神事、民俗芸能がとりあげられています。ボロ市と関係するお会式についても、妙福寺・本照寺など、写真入りで解説。(予定価格150円で2月発売)

特別展

「豊嶋氏の興亡とその史跡」開催中!

郷土資料室(石神井台1-16-31)

電話 996-0563

中世に南関東の氏族として勢力をふるい、石神井城・練馬城などを築いた豊嶋氏の興亡の歴史を、写真・パネルで紹介しています。(3月12日まで。休館は、月曜・祝日・毎月14日)

文化財日誌

(昭和63年7月10日~12月20日)

7月

20日 埋蔵文化財立会(大泉北小・消防)

26日~28日 試掘(仮称小竹図書館用地内・遺跡の有無の確認)

28日 埋蔵文化財立会(橋戸小・消防)

29日 愛宕下遺跡調査団 結団式

8月

4日 堀北遺跡発掘調査(富士見台三丁目・N氏宅)

8日 埋蔵文化財試掘(小竹町二丁目・都営住宅)

9日 第二回文化財保護推進委員会

9日~12日 埋蔵文化財試掘(関町東二丁目・都営住宅)

1/26 文化財防火デー

昭和24年のこの日、法隆寺金堂壁画が焼損したことを契機として、文化庁・消防庁を中心に、この時期に全国で文化財防火運動が行われます。◎練馬消防署 午前10時半から、春日町の「愛染院」。◎石神井消防署 午前10時から、高野台の「長命寺」にて、消火訓練を実施。

15日~16日 堀北遺跡発掘調査(継続)

22日~26日 埋蔵文化財試掘(石神井台四丁目・都営上石神井団地)

29日~31日 埋蔵文化財試掘(早宮三丁目・都営早宮第2アパート)

9月

3日 埋蔵文化財立会(関町北三丁目)

9日 文化財保護審議会 第一部会

21日 埋蔵文化財試掘(関町北三丁目)

10月

5日~6日 溜淵遺跡発掘調査(関町北三丁目・下水道)

11日 埋蔵文化財立会(貫井二丁目)

24日 文化財保護審議会 第一部会

28日 秋の史跡散歩(関町コース) 本立寺・井口稲荷・天祖神社・千川

30日 文化財保護審議会 第二部会

9日 第三回文化財保護推進委員会

10日~11日 文化財講座「明治維新と練馬」区立婦人会館での講義とシルク博物館・横浜市内の見学。講師は、橋谷田千代美氏と伊藤経一氏。参加は、講義44名、バス見学39名。

14日~16日 埋蔵文化財試掘(早宮三丁目・都営早宮第3アパート)

25日 文化財保護審議会

8日 家屋の実踏(桜台一丁目)

9日 本立寺・関のポロ市取材

区

役所中央館の1階に、湯茶コーナーがあります。ここに「文化財」を展示しています。

昨年11月までは縄文土器、12月からは蠅取り器。蠅取り器は、ネジを巻いてバネ仕掛けで筒が回転し、蠅が脱出できなくなるものです。「ねりまの文化財」は、今後季刊化をめざしてまいります。

11月

9日 第三回文化財保護推進委員会

10日~11日 文化財講座「明治維新と練馬」区立婦人会館での講義とシルク博物館・横浜市内の見学。講師は、橋谷田千代美氏と伊藤経一氏。参加は、講義44名、バス見学39名。

14日~16日 埋蔵文化財試掘(早宮三丁目・都営早宮第3アパート)

25日 文化財保護審議会

8日 家屋の実踏(桜台一丁目)

9日 本立寺・関のポロ市取材

16日 文化財保護審議会

12月

9日 第三回文化財保護推進委員会

10日~11日 文化財講座「明治維新と練馬」区立婦人会館での講義とシルク博物館・横浜市内の見学。講師は、橋谷田千代美氏と伊藤経一氏。参加は、講義44名、バス見学39名。

14日~16日 埋蔵文化財試掘(早宮三丁目・都営早宮第3アパート)

25日 文化財保護審議会

8日 家屋の実踏(桜台一丁目)

9日 本立寺・関のポロ市取材

16日 文化財保護審議会